よくわかる公共事業

令和4年度

県道太田大間々線（新田藪塚工区）バイパス整備事業

政策3　多様な移動手段の確保

施策２：　自動車交通網の整備

事業概要

■所在地：太田市新田小金井町　～　山之神町
■路線名：主要地方道　太田大間々線
■事業内容：バイパス整備　延長1.94km
　　幅22.75m～25.00m
■全体事業費：約30億円
■事業期間：平成25年度～令和５年度（１１年間）
■現在の交通量（H27）：　9,958台/日（現道_自動車）
　　：　58人/12時間（現道_歩行者）
　　：　35台/12時間（現道_自転車）
■計画交通量（R12）　：16,200台/日（バイパス_自動車）
　　：　1,900台/日（現道_自動車）

事業位置

どのような目的を達成するための事業か

・物流の効率化を図るため　→　**バイパス道路をつくります**

地元の声

・渋滞して不便なので、早く整備して地域間の連携を強化してほしい。（地元住民）
・市街地から太田藪塚ＩＣやみどり市方面への連絡が良くなると思う。（地元住民）
・市街地へのアクセスがよくなり便利になるので、早く完成してほしい。（地元住民）

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
移動時間（太田記念病院～太田藪塚ＩＣ）	約２５分	約２０分（５分短縮）
現道の混雑度	1.32	0.25

実施前

◆朝夕の通勤時間帯を中心に交通渋滞が発生しており、移動に時間がかかります。

現道の渋滞状況

実施後

◆バイパス道路をつくることにより移動時間が短縮するとともに、周辺道路の渋滞が緩和されます。

完成したバイパス区間

事業の進捗状況（R４年3月現在）

今、何をしているか

令和４年度も引き続き、用地取得道路改良工事を実施していきます。

道路改良工事

事業のすすみ具合

事業開始 ●――――――●・・・・・・・・● 事業完了